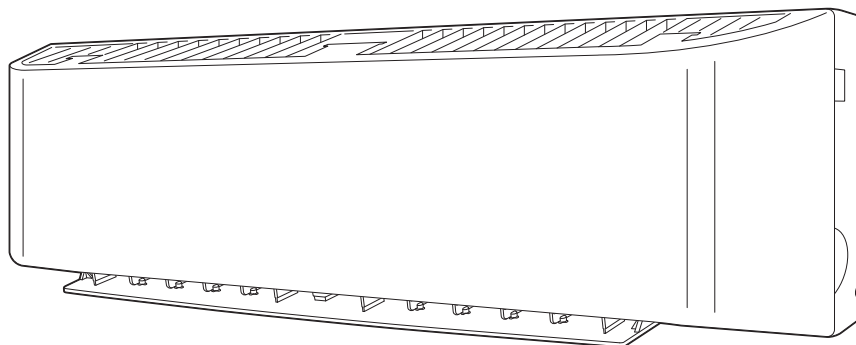


TOYOTOMI

トヨトミサーキュレーター(壁掛式)

エフ シー ダブリュー エム
型式 **FC-W50M**
9658

取扱説明書(保証書付き) (裏表紙に付いています。)



このたびは、本機をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、正しく使用してください。
- この「取扱説明書」は、大切に保管してください。
- 「取扱説明書」を紛失された場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

※本機は冷暖房機能は備えていません。

目次

| | ページ |
|-------------------|-------|
| 安全上のご注意 | 1~3 |
| 各部のなまえと付属品 | 4~5 |
| 設置のしかた | 5~7 |
| ご使用方法 | 8~9 |
| お手入れのしかた | 10~11 |
| 知っておいていただきたいこと | 12 |
| 簡単な故障・異常の見分けかた | 12~13 |
| 長年ご使用のサーキュレーターの点検 | 13 |
| 廃棄のしかた | 13 |
| 仕様 | 14 |
| 保証とアフターサービス | 14 |
| お客様相談窓口 | 14 |
| 保証書 | 裏表紙 |

製品アンケートにご協力ください

製品アンケートはこちらです。
<http://www.toyotomi.jp/aiyou/>
※通信料などはお客様のご負担になります。



安全上のご注意(よく読んで必ずお守りください。)

- お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

| | |
|----------------------|--|
| ⚠ 警告(WARNING) | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意(CAUTION) | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

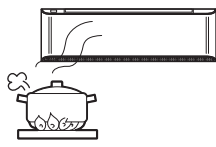

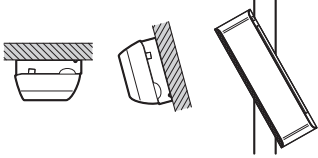
- お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

| | | | | |
|--|-----------------------|--|--|--------------------------|
| | この絵表示は、「禁止」されている内容です。 | | | この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。 |
|--|-----------------------|--|--|--------------------------|

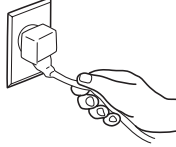
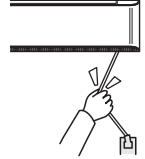
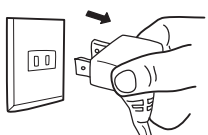
- 説明文中の「お願い」「お知らせ」事項は、本機を誤りなく正しくお使いいただくための内容が記載されています。

| ⚠ 警告(WARNING) | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●日本国内専用です。電源は交流100V以外で使用しない。100V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、火災や感電の原因になります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。タコ足配線などで定格を超えると、火災や感電や電源プラグの異常発熱や変形の原因になります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込む。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は火災や感電の原因になります。電源プラグにたまったほこりなどは定期的(1箇月に1~2回)に掃除をしてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、重い物を載せたりしない。また、ふすまやドアに挟まない。使用中は、結束バンドや針金などで束ねたりしない。傷んだまま使用すると、火災や感電やショートの原因になります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグや操作部を濡れた手で抜き差ししたり触れない。感電の原因になります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを踏んで使用しない。電源コードが破損する原因になります。傷んだまま使用すると火災や感電の原因になります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグの抜き差しにより本機の運転を停止させない。火災や感電の原因になります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に保管する。誤ってかぶったとき窒息し、死亡の原因になります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●直接水をかけたり、水につけたり、浴室内などの水のかかり易い場所や湿気の多い場所で使用しない。水がかかると、内部に浸水して電気絶縁が劣化し、火災や感電や漏電の原因になることがあります。水などがかかったら、使用を中止してお買い求めの販売店または、弊社の「お客様相談窓口」にご相談ください。 | <ul style="list-style-type: none"> ●本機にぶら下がらない。転倒や落下によりけがの原因になります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●可燃性ガス(殺虫剤など)を吹きつけない。また可燃性ガスや腐食性ガスの発生する場所やたまる場所では使用しない。万一ガスが漏れて本機の周囲にたまると、火災や故障や変色の原因になります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●吹出口や吸込口にピンや針などの金属物等、また指を入れない。内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になるおそれがあります。 |

警告(WARNING)

| | |
|---|--|
| <p>●ガスコンロの上など熱気の当たる場所には設置しない。 故障や変形のおそれがあります。</p>  <p style="text-align: right;">禁止</p> | <p>●異常時(こげくさい等)は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店または弊社の「お客様相談窓口」にご相談ください。 異常のまま運転を続けると、火災や感電や故障の原因になります。</p>  <p style="text-align: right;">電源プラグを抜く</p> |
| <p>●電気工事が必要な場合は、お買い求めの販売店または専門業者に依頼する。 配線等に不備がある場合、火災や漏電や感電の原因になります。</p> <p style="text-align: right;">指示</p> | <p>●本機は垂直で丈夫な板壁や柱に取り付ける。 安全装置が働いてファンが回転しないおそれがあります。 また、落下によりけがをする原因になります。</p> <p style="text-align: right;">確認</p> |
| <p>●次のような取り付けかたはしない。 ・天井などに取り付け、真下に向けたりしないでください。 ・本体を傾けた状態で使用しないでください。 本機が落下し、けがや故障の原因になります。</p>  <p style="text-align: right;">禁止</p> | |
| <p>●本体の取付け、取り外しは、取扱説明書に従い確実にこなす。 取り付けが不完全な場合、火災や感電や本機の落下によるけがの原因になります。</p> <p style="text-align: right;">指示</p> | <p>●修理は、お買い求めの販売店または、弊社の「お客様相談窓口」にご相談ください。 ご自分で修理をされたときに不備があると、火災や感電等の原因になります。</p> <p style="text-align: right;">実施</p> |
| <p>●改造・分解して使用しない。 改造・分解は、機器の安全性を損なうため、思わぬ事故の原因になります。 また修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理をおこなわない。</p>  <p style="text-align: right;">改造・分解禁止</p> | |

注意(CAUTION)

| | |
|---|---|
| <p>●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜く。 電源コードを引っ張って抜くと、コードの内部が断線して発熱・発火の原因になります。</p>  <p style="text-align: right;">禁止</p> | <p>●電源コードを引っ張らない。 落下・故障のおそれがあります。</p>  <p style="text-align: right;">禁止</p> |
| <p>●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。 電源コードや電源プラグが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電やショートや発火の原因になります。また、コンセントの差し込みがゆるいと感じた時は電気工事業者に依頼してコンセントを取り替えてください。コンセントを交換しても異常に発熱している場合はお買い求めの販売店または、弊社の「お客様相談窓口」に修理依頼してください。</p> <p style="text-align: right;">確認</p> | |
| <p>●使用時以外またはお手入れをする際は、電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。</p>  <p style="text-align: right;">電源プラグを抜く</p> | <p>●次の場所では使わない。 ・ガスレンジや石油ストーブの近く、引火性ガスのあるところ。 炎の立ち消えによる不完全燃焼や引火・爆発の原因になります。 ・雨や水しぶきのかかる所 ・綿ぼこりや砂ぼこりの多い所 ・金属粉の多い所 感電やショートによる発火の原因になります。 ・油や薬品を使う場所 ・直射日光など、強い紫外線の当たる所 樹脂部品が劣化して本体が破損し、落下やけがの原因になります。 感電やショートによる発火の原因になります。</p> <p style="text-align: right;">禁止</p> |
| <p>●必ず床面から1.8m以上の高さの壁に掛けて使用する。 壁に掛けずに使用すると、動作不良、故障の原因になります。</p> <p style="text-align: right;">指示</p> | |

⚠ 注意(CAUTION)

●無理やり可動部に力を加えない。
ルーバー可動部が破損するおそれがあります。



禁止

●フィルターをはずした状態で使用しない。
本機内にほこりを吸い込み、故障の原因になります。

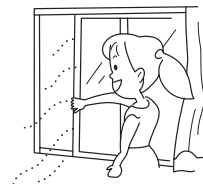


禁止

●燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する。

換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

本機は、室内の空気を循環させるサーキュレーターです。換気はおこなっていません。燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。



指示

●本機は一般家庭での使用を対象にしていますので、食品・動物(飼育室等)・植物(温室等)・精密機器・美術品・コンピュータールーム・医薬品等の維持・管理や保存など、特殊用途では使用しない。またペット用の空調機器として使用しない。

本機自体やこれらの物の品質低下や劣化・故障の原因になります。予測できない事故が発生するおそれがあります。



禁止

●吸込口や吹出口の風をさえぎったり、塞いだりしない。
発火や発熱や故障の原因になります。



禁止

●異常な振動や異音が出た場合は、使用を中止する。
部品の落下等によりけがの原因になります。



使用中止

●長時間風を直接体に当てない。
健康を害することがあります。特に乳幼児やお年寄りや身体の不自由な方にはご注意ください。



禁止



●屋外で使用しない。
屋内専用です。故障や感電の原因になります。



禁止

●本体を取り付けている壁掛金具のガタツキが大きくなっていないか年に1回確認する。
ゆるみが大きくなっている時は壁の強度が不足している事が考えられます。壁の補強等が必要です。



確認

●フィルターは2週間に1回、本体から取りはずしそうじをする。
フィルターにほこりが付着すると、風量が少なくなったり故障の原因になります。



指示

●リモコンに使用する電池は、指定以外の電池を使用しない。
●電池の⊕と⊖を間違えて挿入しない。
●電池は充電・加熱・分解・ショートなどさせない。火の中に入れてはいけない。
●電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかない。
●種類の違う電池は使用しない。
液漏れ、破裂したり、やけどやけがの原因になります。液漏れした液にふれたときは、水でよく洗い流して、医師に相談してください。本機に付着した場合は、直接液にふれないようにふき取ってください。
●電池は、使えなくなったら、すぐ取り出して処分してください。
電池はお子様が悪く飲んで飲み込むと危険です。万一飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
●シーズン終了後、電池の液漏れを防ぐため電池は必ず抜いて保管してください。
使用済みの電池はお住まいの地域の分別方法に従って捨ててください。(捨てる際にはセロハンテープなどを巻きつけて絶縁してください。)



禁止

●お手入れは、手袋をはめておこなう。
けがの原因になります。



指示

●保管するときは、本機の操作を知らない人(特にお子様)などが触れない所に保管する。
けがや事故の原因になります。

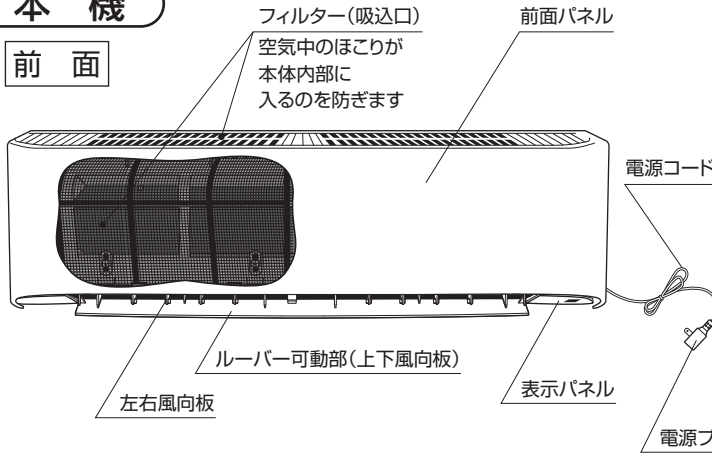


指示

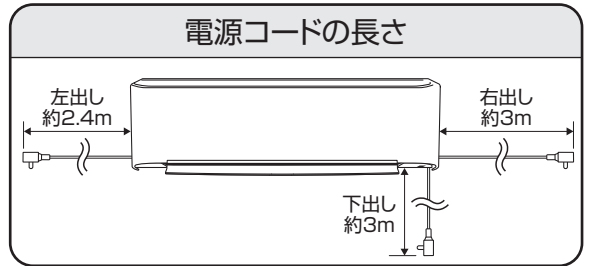
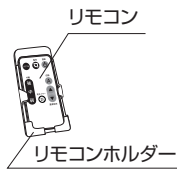
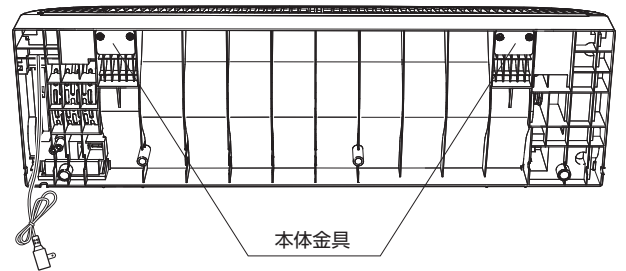
各部のなまえと付属品

本機

前面



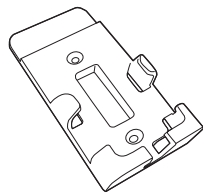
裏面



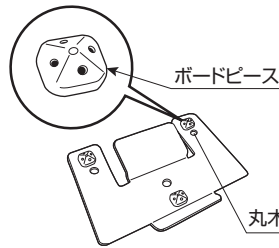
付属品



リモコン 1個
(作動確認用リチウム電池 CR 2025 内蔵)



リモコンホルダー 1個



壁掛金具 2個



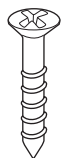
ボードピン 24個(+予備)
(壁掛金具取り付け用)



ボードキャップ 6個
(壁掛金具取り付け用)



押込棒 1個
(壁掛金具取り付け用)



皿木ネジ (呼び3mm)2本
(リモコンホルダー取り付けネジ)

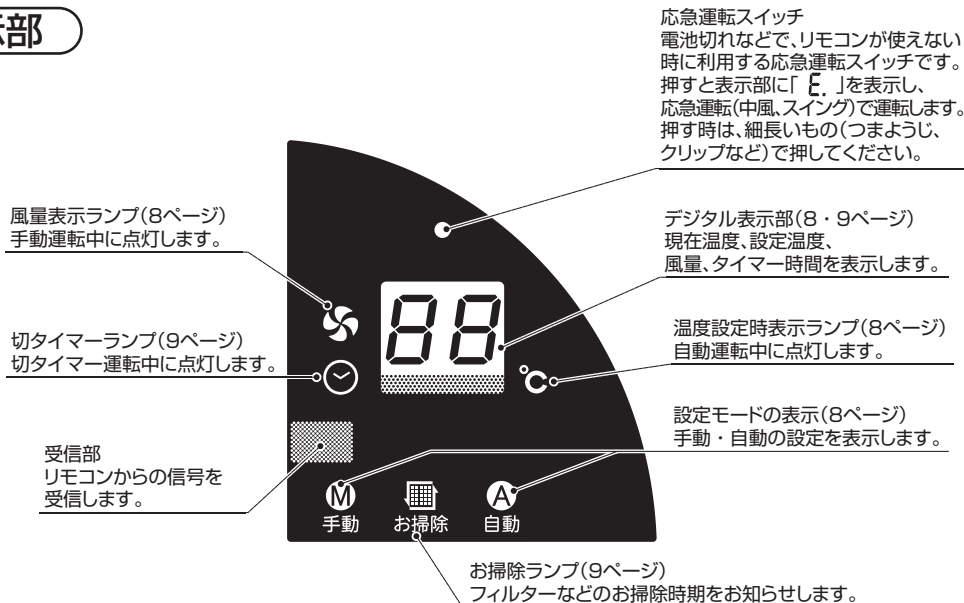


丸木ネジ (呼び4mm)4本
(壁掛金具取り付けネジ)

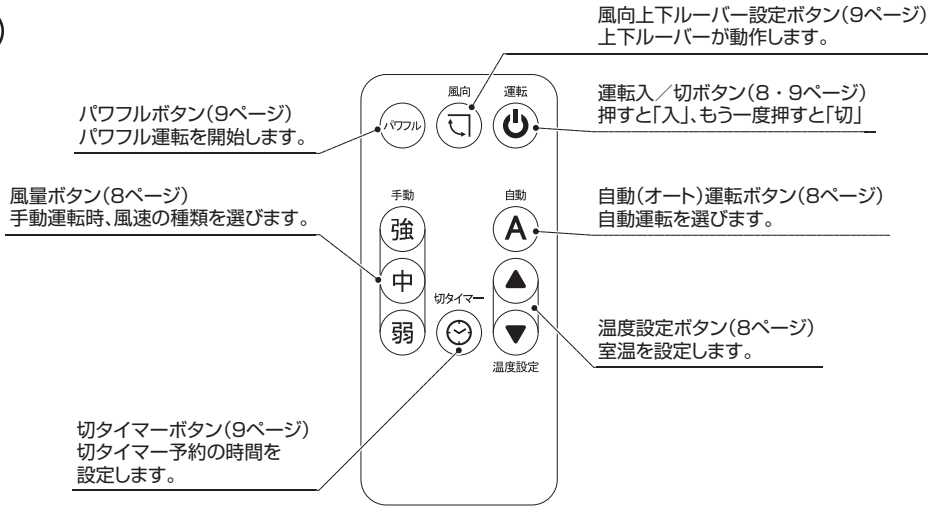


型紙 1枚
(壁掛金具取り付け用)

本体表示部



リモコン



設置のしかた



警告

電源プラグをコンセントに差し込む前に設置してください。
感電・けがの原因になります。



注意

落下によるけがや破損の原因になりますので、次のことを必ず守ってください。

- 取付方法、取付方向は、この取扱説明書に従って施工してください。
- 取り付ける壁面は十分な強度があることを確認してください。
- 取付金具には他の荷重をかけないでください。
- 取付部品の改造・変更は行わないでください。
- 附属の壁掛金具以外での壁面への取付は行わないでください。
- 設置後、本体を手で手前に引っ張ってガタつきがないか確認してください。

壁掛金具取付用型紙

トヨトミ 壁掛サーキュレーター
壁掛金具取付用型紙

※天井から10cm離す

(A)

壁から8.5cm以上離す

44.6cm

5.5cm

7cm

2cm

10cm

壁から8.5cm以上離す

天井から10cm離す

電源コードの長さは約2.4m

電源コードの長さは約3m

取付ライン

完了ライン

※本体の凸部と合っているか確かめる

《重要》
床から1.8m以上
離して設置する

本体の掛け方

本体を壁掛金具に掛ける際は、上の図のように本体を傾け、正面から見て本体底面を型紙の取付ラインに合わせる。本体を壁掛金具につけて取付する。取付が終わったら本体から完了ラインが合っているか確かめる。

型紙のご使用方法

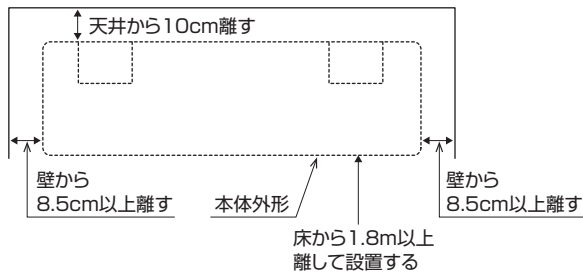
- ① 設置する位置に型紙を貼る。
- ② 壁掛金具を(A)部の【壁掛金具】に合わせテープ等で仮止めする。
- ③ 壁の材質に適した附属の丸木ネジ又はボードピンで取り付ける。(【壁掛金具】の○は丸木ネジ取り付け位置)
- ④ (A)部のグレー部分をミシン目から切り壁からはがす。
- ⑤ 本体底面を型紙の取付ラインに合わせる。
- ⑥ 壁掛金具に引っかけて完了ラインまで下げる。
- ⑦ 取り付け後、手前に引っ張ってガタつきがないか確認する。
- ⑧ (B)部の型紙を壁からはがす。

※詳細は取扱説明書P5-7

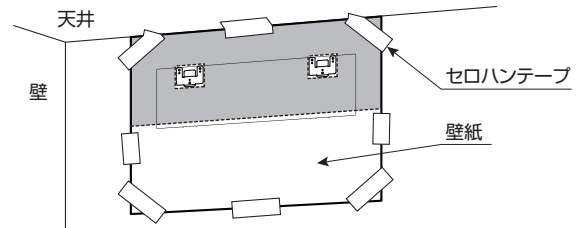
(B)

取付位置・型紙を設置する位置

1. 取付位置を決めます。



2. 型紙を設置する位置に合わせて貼ります。



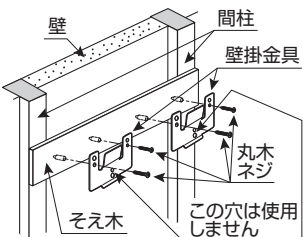
壁掛金具の取り付けかた

1. 壁掛金具を型紙の「壁掛金具」に合わせ、壁の材質にあわせた固定具でしっかりと固定してください。

2. もう一方の壁掛金具も固定してください。

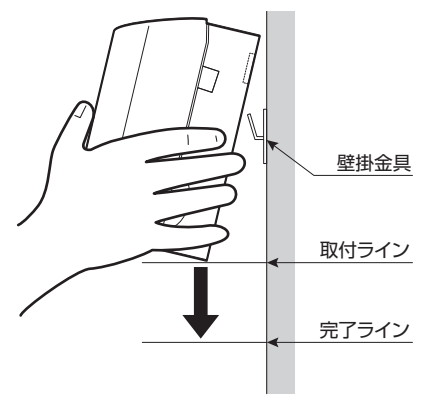
※取り付け壁の材質により、下記の通り取り付けてください。

| 壁の材質 | 使用部品及び取り付けかた |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●木壁 ●合板壁 (厚み12mm以上) | <p>附属品 …壁掛金具2個 …丸木ネジ4本</p> <ul style="list-style-type: none"> ●壁掛金具を型紙の「壁掛金具」に合わせ、テープ等で型紙に貼ります。 ●「壁掛金具」の丸木ネジの場所(○)の位置に丸木ネジで固定します。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●石膏ボード壁 (厚み12mm以上) | <p>附属品 …壁掛金具2個 …ボードピン24本 …ボードキャップ6個 …押込棒</p> <ul style="list-style-type: none"> ●壁掛金具を型紙の「壁掛金具」に合わせ、テープ等で型紙に貼ります。 ●ボードピンを押込棒の穴(深い方)にセットします。ボードピースの穴にボードピンをななめに入れて、押し込みます。次に押込棒の反対側(浅くてくぼんでいる所)でボードピンを押し込みます。ボードピンは、ボードピース1個につき4本使用します。ボードピースを固定したらボードキャップをボードピースにはめます。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●モルタル壁 ●コンクリート壁 | <p>附属品 …壁掛金具2個 …丸木ネジ4本</p> <p>市販品 …コンクリート用プラグ4個</p> <p>※市販のコンクリート用プラグは、耐荷重を考慮してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●型紙の「壁掛金具」の丸木ネジの場所(○)に合わせて市販のコンクリート用プラグを壁に打ち込みます。 ●壁掛金具を型紙の「壁掛金具」に合わせ、テープ等で型紙に貼ります。 ●コンクリート用プラグに丸木ネジで固定します。 |

| 壁の材質 | 使用部品及び取り付けかた | |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●土壁 ●しっくい壁 ●木壁及び合板壁 (厚み12mm未満) ●石膏ボード壁 (厚み12mm未満) | 附属品 …壁掛金具2個 …丸木ネジ4本 市販品 …そえ木 |  <ul style="list-style-type: none"> ●間柱にそえ木を取り付けてから、壁掛金具を取り付けてください。 ●壁掛金具を型紙の「壁掛金具」に合わせ、テープ等で型紙に貼ります。 ●壁掛金具の丸木ネジの場所(○)の位置に丸木ネジで固定します。 |

本体の取り付けかた

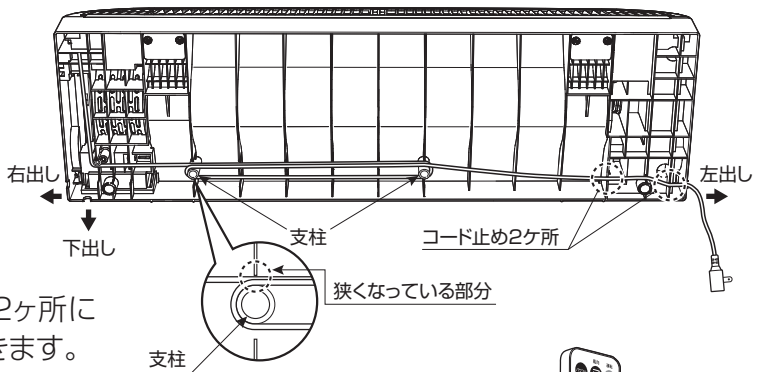
1. 壁掛金具に貼ったテープをはがします。
2. 型紙の④部のグレー部分をミシン目から切り離し、壁からはがします。
3. 本体を型紙の取付ラインに合わせて、壁掛金具に取り付けます。
右図のように本体を傾け、正面から見て本体底面を型紙の取付ラインに合わせます。壁掛金具のななめの部分に本体の金具が入るように引っ掛けて取り付けます。
4. 取り付けが終わったら本体と型紙の完了ラインが合っているか、確かめます。
また、本体を手前に引っ張ってガタつきがないことを確かめます。
5. ⑤の型紙を壁からはがします。
※壁掛金具裏の型紙は、壁に残ります。



電源コードの収納方法

電源コードが余った場合は、本体背面の支柱に巻いて収納してください。狭くなっている部分に電源コードを入れると、はみ出さずにおさめることができます。

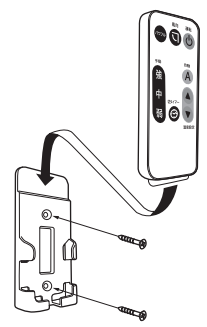
電源コードを製品左から出す場合は、コード止め2ヶ所に通すと、コードがはみ出さずにおさめることができます。



リモコンを壁などに取り付ける場合

リモコンホルダーを取り付ける位置で「運転」ボタンを押し、本機が動作することを確認してから取り付けてください。

1. リモコンホルダーを附属の皿木ネジで木壁に固定する。
2. リモコンホルダーにリモコンを取り付ける。



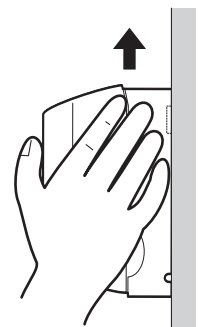
リモコンの準備

お買い上げ時には、リモコンに電池が内蔵されています。初めてご使用になるときは、絶縁シートを引き抜いてください。作動確認用リチウム電池です。動作が悪くなった場合は新しく購入してください。



本体の外しかた

1. 本体を壁掛金具から取り外します。
右図のように本体の左右を持ち、持ち上げます。
2. 壁掛金具を取り付けている、丸木ネジ又はボードピンを取り外します。
ボードピンは、ボードキャップを外してからラジオペンチ等でピンの頭をつかみ、ななめ手前に抜きます。
3. 壁掛金具を外します。



ご使用方法

警告

- 電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込む。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は火災や感電の原因になります。
電源プラグにたまったほこりなどは定期的(1箇月に1~2回)に掃除をしてください。

お知らせ

- 本機は冷暖房機能は、備えていません。
- 本機は、本体の設置場所やリモコンで操作する位置により、本体表示部の見えかたが変わることがあります。リモコンでの操作中本体表示部が見えにくい場合は、本体表示部のよく見える位置で操作をしてください。

- 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- リモコンの電池の絶縁シートを引き抜いてください。

自動運転

1. リモコンの「運転」ボタンを押します
2. 「自動」ボタンを押して、「自動」にセットします。

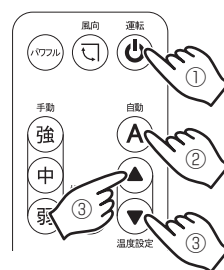
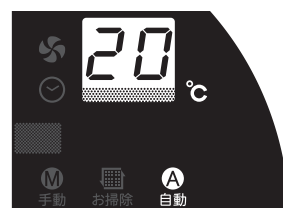
- 設定モードの表示が「自動」となります。
- 表示部に現在の温度が表示されます。
- リモコンでお好みの温度を設定し、設定温度と室温との差を見て、〔表-1〕〔例〕のように自動的に風量を調整します。

〔表-1〕

| 設定温度と室温との差 | 風量 |
|------------------------|----|
| 室温 \geq 設定温度+2℃ | 強風 |
| 設定温度+2℃>室温 \geq 設定温度 | 中風 |
| 設定温度>室温 \geq 設定温度-3℃ | 弱風 |
| 設定温度-3℃>室温 | 停止 |

〔例〕設定温度を20℃に設定した場合

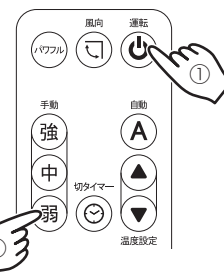
| 設定温度 | 室温 | 設定温度と室温との差 | 風量 |
|------|------------|-------------------|----|
| 20℃ | 22℃以上 | 2℃以上 | 強風 |
| | 20℃以上22℃未満 | ± 0 ℃以上2℃未満 | 中風 |
| | 17℃以上20℃未満 | -3℃以上 ± 0 ℃未満 | 弱風 |
| | 17℃未満 | -3℃未満 | 停止 |



3. 「温度設定」ボタンの「▲」または、「▼」を押します。

- お好みの温度に設定します。
- 1回押すごとに1℃変化します。
- 電源プラグをコンセントに入れた時の初期の設定温度は20℃です。
- 16℃~30℃まで設定できます。

4. 再度、リモコンの「運転」ボタンを押すと運転を停止します。

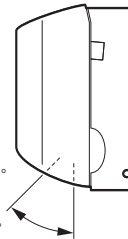
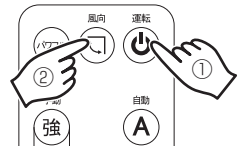


手動運転

1. リモコンの「運転」ボタンを押します。
2. 風量ボタン「強」「中」「弱」のいずれかを押すと、押した風量で手動運転をします。
 - 本体表示部の設定モードの表示が「手動」となります。
 - 本体表示部は、風量表示ランプが点灯するとともに、表示部に強風：〔3〕、中風：〔2〕、弱風：〔1〕を表示します。
3. 再度、リモコンの「運転」ボタンを押すと運転を停止します。

パワフル運転

1. リモコンの「運転」ボタンを押します。
2. リモコンの「パワフル」ボタンを押します。
 - パワフル運転は、10分間運転します。
 - パワフル運転は、手動運転で設定する「強風」より強い風を吹き出します。
 - 10分経過後は、パワフル運転を設定する前の運転に戻ります。
 - パワフル運転中の表示部は、「HP」を表示します。
3. 再度、リモコンの「運転」ボタンを押すと運転を停止します。



上下ルーバーの可動範囲は約45°です。

約45°

上下の風向調節

1. リモコンの「運転」ボタンを押します。
2. リモコンの「風向」ボタンを押します。
 - ルーバーが上下にスイングします。
 - 再度風向ボタンを押すと好みの場所でルーバーを止めることができます。
 - 運転を停止するとルーバーは全閉します。
3. 再度、リモコンの「運転」ボタンを押すと運転を停止します。

左右の風向調節

警告

- 吹出口や吸込口にピンや針などの金属物等、また指を入れない。内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になるおそれがあります。

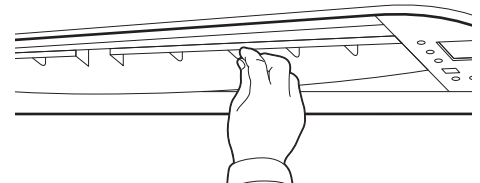


お願い

- 運転を停止させ、ファンが止まってから左右の風向調節をしてください。

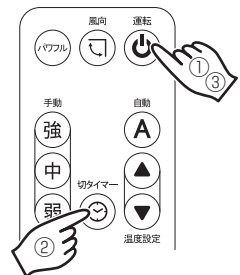
左右の風向調節は、ルーバーを手で開いてから、手で左右風向板の向きをかえておこないます。

- 調節範囲は約左右70°です。



切タイマー運転

1. リモコンの「運転」ボタンを押します。
2. リモコンの「切タイマー」ボタンを押します。
 - 「切タイマー」ボタンを1度押すと **1** と表示します。
 - 「切タイマー」ボタンを押していくと **1** → **2** …… **10** → **11** → **12** → **運転表示** (解除) と表示します。
 - 1時間単位の設定となり、最大で12時間まで設定できます。
 - 表示部は、切タイマーセット後しばらくすると現在の運転表示状態に戻ります。
 - 本体の近くで、必ず本体表示の切タイマーランプが点灯したことを確認してください。
3. 再度、リモコンの「運転」ボタンを押すと切タイマーは解除され、運転を停止します。



お掃除ランプ

- 使用時間が1000時間を経過すると、お掃除時期になったことをお知らせするために、「お掃除ランプ」を点灯します。運転中の時は、運転を止めて、掃除してください。
(「お手入れのしかた」(10~11ページ)参照)
- 「お掃除ランプ」は前面パネルの開閉、又は電源プラグの抜き差しによりリセットされ消灯します。
※フィルターの掃除は2週間に1度行ってください。



お手入れのしかた

⚠️ 注意

- 使用時以外またはお手入れをする際は、電源プラグをコンセントから抜く。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



- 本機を取り付けている壁掛金具のガタツキが大きくなっていないか年に1回確認する。
ゆるみが大きくなっている時は壁の強度が不足していることが考えられます。壁の補強等が必要です。



フィルターの掃除 ●2週間に1回

⚠️ 注意

- フィルターは2週間に一回、本体から取りはずしそうじをする。
フィルターにほこりが付着すると風量が少なくなったり、故障の原因になります。

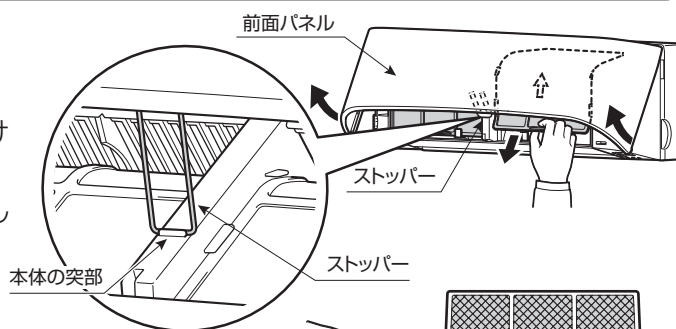


お願い

- フィルターを出し入れするときは、パネルを傷付けないようにしてください。
- 40℃以上のお湯で洗わないでください。フィルターが縮むことがあります。
- フィルターをはずしたままで運転しないでください。本機内にほこりが入り故障の原因になります。
- 手荒に扱うとフィルターが破れたり、枠が折れることがあります。

〈フィルターの取りはずしかた〉

1. 前面パネルの左右を持ち、上方へ持上げます。
2. 前面パネルのストッパーを本体の突部に引っ掛けます。
3. フィルターを上を持ち上げ、本体のツメから外しゆっくりと、手前に引き下げます。

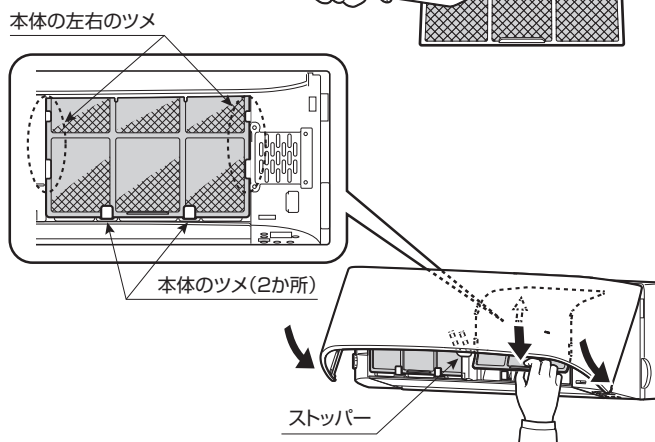


〈掃除機でほこりを取る〉

- ひどい汚れは、薄めた中性洗剤で、つけ置き洗いをし、十分に乾かしてください。

〈フィルターの取り付けかた〉

1. フィルタを本体の左右のツメに入れ、上へゆっくりと入れる。
2. 奥まで入ったら、本体のツメ(2か所)に、フィルターを引っ掛けます。
3. 前面パネルのストッパーを外しパネルの中に入れ、前面パネルを元に戻します。



※前面パネルが外れた場合は、P.11〈前面パネルの取り付けかた〉を参照して取り付けてください。

本体の掃除

⚠️ 警告

- 本機を水洗いしない。
感電の原因になることがあります。



お願い

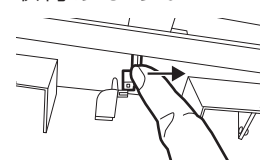
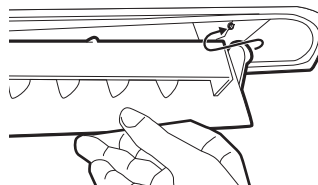
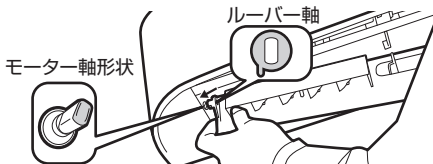
- 40℃以上のお湯は使わないでください。プラスチックが変形することがあります。
- プラスチックを傷めますので、ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉・塩素や酵素系洗剤などは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 前面パネルが確実に閉まっていることを確認してから運転してください。



ルーバーが外れたとき(ルーバーの取り付けかた)

お手入れ中に、ルーバーが外れても、ルーバーはご自身で取付けることができます。

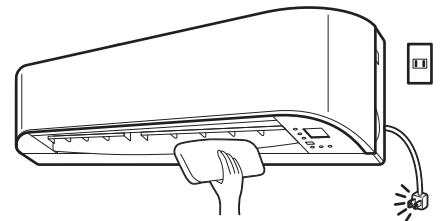
1. 製品に向かって左側モーターの軸形状に合わせてルーバー軸を取付けます。
2. 次に右側の軸も取付けます。
3. 最後に中央の軸を取付けます。



本体・リモコン ●汚れが気になったら

柔らかい布でからぶきする。

- ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。



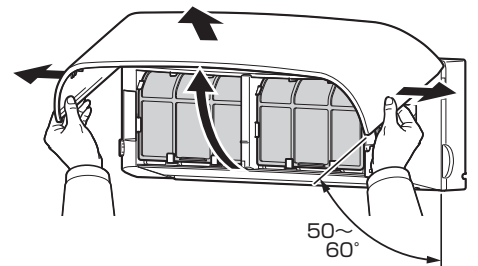
前面パネル ●汚れが気になったら

取り外して水洗いする。

- ひどい汚れは、薄めた中性洗剤で水洗いし、十分に乾かしてください。

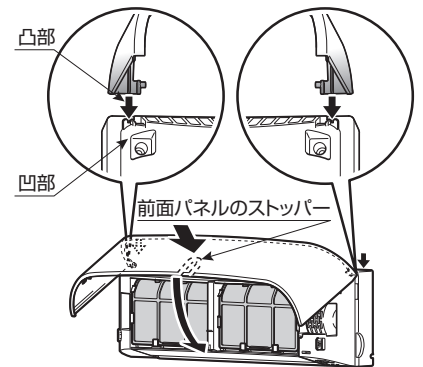
〈前面パネルの取りはずしかた〉

1. 前面パネルの左右を持ち、上方へ持ち上げ前面パネルを50~60°の角度まで開きます。
2. 前面パネルを左右に開き、手前に引いて取り外します。



〈前面パネルの取り付けかた〉

1. 前面パネルを左右に少し開き、前面パネルが50~60°の角度に開いた状態で、前面パネル裏側にある左右の凸部が本体側の凹部に入るように合わせます。
2. 左右に開いた前面パネルを元に戻し、前面パネルを下げて本体に組み付けます。

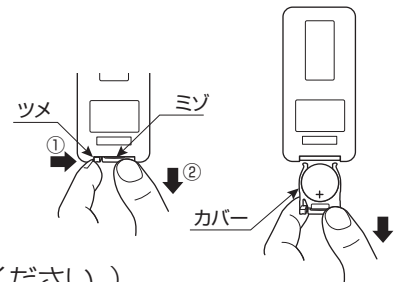


※前面パネルのストッパーは、前面パネルの裏側に納めて、ストッパーが本体から出ないようにしてください。

※前面パネルが確実に閉まっていることを確認してください。

リモコンの電池交換のしかた

1. リモコン裏面ツメの部分轻轻一押ししながら、ミゾに指をかけて引き出します。
 2. 古い電池を取り出して、新しい電池(CR2025 3V)を「+」面を上にしてリモコン本体にはめ込みます。
 3. カバーをリモコン本体に納めます。
- ※使用済みの電池は、各自治体の指導に従って廃棄してください。(廃棄するときは、「+」「-」面をセロハンテープなどで絶縁してください。)



1箇月以上使わないときは

注意

- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。
ほこりがたまって発熱・発火の原因になることがあります。

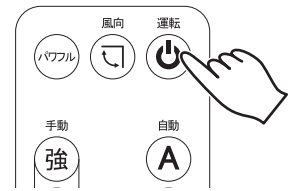


電源プラグを抜く

知っておいていただきたいこと

●停電したとき

停電したあと再び通電されても、保護回路の働きで本機は停止したままです。運転を再開するときは、あらためて「**運転**」ボタンを押してください。



●長い間本機を使わないとき

電源プラグを抜いておくことをおすすめします。

●ご使用いただける温度

ご使用いただける温度は約0~40℃です。

上記以外の条件で運転されると保護装置がはたらき運転できないことがあります。

簡単な故障・異常の見分けかた—修理を依頼される前に—

故障のお知らせ(デジタル表示の見かた)

※本機は故障・異常が生じたら、本体のデジタル表示で異常原因を表示します。

| デジタル表示 | 原因 | 処置 |
|--------|---|---|
| | ●電源周波数判定の異常です。 | ●電源プラグをコンセントに差し直してください。再度エラーが表示した場合、販売店にご相談ください。 |
| | ●前面パネルが外れています。 ●前面パネルのストッパーを正しい位置にセットしていますか？ | ●前面パネルをはめ直して、リモコンの運転ボタンを押して「 E8 」を解除する。 |
| | ●ルームサーミスタが高温(50°)になっています。 | ●天井面や左右の壁までの距離を十分確保してください。 再度エラーが表示した場合、販売店にご相談ください。 |
| | ●ルームサーミスタが異常を検知しました。 | ●販売店にご相談ください。 |
| | ●応急運転スイッチを押して、応急運転中です。 | ●異常ではありません。 |

故障かなと思ったときに

| 症状 | 原因 | 処置 |
|-------------------|--|--|
| 運転しない 設定できない | ●停電していませんか？ | ●停電復帰後に電源プラグをコンセントに差し込む。 |
| | ●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ | ●電源プラグをコンセントに差し込む。 |
| | ●リモコンの電池が古くなっていませんか？ | ●新しい電池と入れ替える。 |
| 風の吹出しが弱い | ●吸込口が何かでふさがれていませんか？ | ●ふさいでいる物を取り除いてください。 |
| | ●フィルターにホコリがたまっていますか？ | ●フィルターの掃除をしてください。(10ページ) |
| 運転しているのに 風が出ない | ●自動運転になっていませんか？ | ●室温が設定温度から-3℃未満の時、ファンは停止します。設定温度を下げると、ファンは回転します。 |
| 本体がぐらつく | ●壁掛金具の取り付けがゆるくなっていませんか？ | ●壁の補強をしてください。 例：そえ木をするなど。 |
| においがする | ●初めてご使用になるときは、本体内部などから塗料などのにおいが発生する事があります。 | ●ご使用にともないにおいが少なくなります。 |
| | ●サーキュレータを運転すると、室内の空気と一緒に壁やじゅうたん・家具・衣類などにしみ込んだにおい成分をサーキュレータ内部に吸込み、フィルターなどに付着して、出てくる為です。 | ●フィルターの掃除をしてください。(10ページ) |
| 異音がする | ●ルーバが閉じてませんか？ | ●一度運転を停止してから、再び運転してください。 |
| | ●本体の取り付けが傾いていませんか？ | ●本体が水平になるよう設置しなおしてください。 |
| | ●フィルターにホコリがたまっていますか？ | ●フィルターの掃除をしてください。(10ページ) |
| お掃除ランプが 点灯する | ●使用時間が1000時間を経過すると、お掃除時期になったことをご知らせするためです。 | ●お手入れのしかた(10・11ページ)を参照して、お手入れをしてください。 |

※以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは、電源プラグを抜き、すぐにお買い求め販売店にご連絡ください。

長年ご使用のサーキュレーターの点検

- モーターがうなるような異常な音はしていませんか？
- 焦げ臭いにおいはしていませんか？
- 電源プラグの差込部が変色していたりしてませんか？
- スイッチを入れても、動かない時はありませんか？
- 壁掛金具のガタツキが大きくなっていませんか？
- その他の異常や故障がありませんか？

愛情点検



左記のような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ずお買い求めの販売店に点検をご相談ください。

廃棄のしかた

- 製品を廃棄するときは、各自治体の指導に従ってください。
- 必ずリモコンから、電池を取りはずしてください。

仕様

| | | |
|-------------------------|-----------------------------|-----|
| 型式の呼び | FC-W50M | |
| 電圧(V) | 100 | |
| 使用温度範囲 | 0~40℃ | |
| 使用湿度範囲 | 80%以下 | |
| 周波数(Hz) | 50 | 60 |
| 消費電力(W) | 20 | 30 |
| 風量(m ³ /min) | 4.0 | 5.0 |
| ルーバー可動角度 | 上下45°(自動)・左右70°(手動) | |
| 電源コードの長さ(m) | 約3.0 | |
| 寸法(mm) | 高さ200 x 幅670 x 奥行148 | |
| 質量(kg) | 3.4 | |
| リモコン電池 | CR 2025, 3V | |
| 安全装置 | 前面パネル外れスイッチ・電流ヒューズ・温度過昇防止装置 | |

保証とアフターサービス

保証について

- この製品には保証書がついています。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入の日から1年間です。
保証書の記載内容によりご購入のの販売店が修理いたします。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、無料修理規定をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により修理いたします。費用など詳しいことはご購入のの販売店にご相談ください。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- サーキュレータの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後8年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

使用中に異常が生じたときは、直ちに電源プラグを抜き、ご購入のの販売店に修理を依頼してください。
アフターサービスをお申し付けいただくときは、右のことをお知らせください。

型式…FC-W50M
故障状態…できるだけ詳しく
ご芳名・ご住所・お電話番号
ご購入の年月日

- アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、ご購入のの販売店または下記のお客様相談窓口にご相談ください。
- ご贈答、ご転居により、ご購入のの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。

お客様相談窓口

製品についてのお問い合わせ、故障修理のお問い合わせはご購入のの販売店にご連絡ください。
販売店にお問い合わせできない場合は、下記のお客様相談窓口までご連絡ください。

株式会社 トヨタ トミ お客様相談窓口



0120-104-154

FAX 052-857-1220

受付時間 平日(月曜~金曜)午前9時~午後5時
※土・日・祝日は除く

ホームページ <https://www.toyotomi.jp/>

トヨタミ サーキュレーター 保証書

本保証書は、本書記載内容により無料修理をおこなうことをお約束するものです。

お買い求めの日から下記期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

| | | |
|------------|---------------------|---------------|
| 型式 FC-W50M | 保証期間 お買い求め日より1年間 | ※販売店名・住所・電話番号 |
| ※お買い求め日 | 年 月 日 | |
| ※お客様 | ご芳名 様 | |
| | 〒 □□□-□□□□ | |
| | ご住所 | |
| | [電話 ()] | |

※印欄に記入がない、あるいは購入支払いを証明するものがない場合は有料修理となりますから必ず確認し、購入証明書(領収書)を保管してください。

【 無 料 修 理 規 定 】

- お買い求めから上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容により、お買い求めの販売店または弊社が無料修理致します。
 - 無料修理をお受けになる場合は、本書あるいは購入日・支払いを証明するものをご提示のうえ、お買い求めの販売店または弊社にご依頼ください。
 - ご転居やご贈答品等でお買い求めの販売店に修理を依頼できない場合は、弊社までお問い合わせください。
 - 保証期間内でも、次の場合は有料になります。
 - 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従わない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買い求め後の本機の転倒、落下、衝撃等による故障及び損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害による故障及び損傷。
 - 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い求め年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。通信販売等で購入され、それを証明する商品の送り状・支払明細書の提示がない場合。ネット販売等を利用した個人売買品や譲渡品、中古品の修理。
 - 部品の消耗による部品交換及びメンテナンスの費用。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い求めの販売店または、弊社の **お客様相談窓口** までお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書の「保証とアフターサービス」の項をご覧ください。
- お客様の個人情報は、当社規定により、厳格に管理します。保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。
- 修理メモ

株式会社 トヨタミ

〒467-0855 名古屋市瑞穂区桃園町5番17号

お客様相談窓口



0120-104-154

受付時間 平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時
※土・日・祝日は除く

FAX 052-857-1220

ホームページ <https://www.toyotomi.jp/>